

広島工業大学は、技術の力で社会と未来を切り拓いてきた理工系総合大学です。理工学は、私たちの暮らしを支え、より良い社会と未来を築くための学問。12の学科・コースでの学びを通じて、時代の変化に応え、新たな価値を創造する力を育てましょう。

information
大学名 広島工業大学
住 所 広島市佐伯区三宅2-1-1
T E L 082-921-3121
U R L <https://www.it-hiroshima.ac.jp/>



挑戦と学びで掴んだ気象予報士合格

つか

小さいころから理科や自然に興味があり、東日本大震災の報道をきっかけに、自然科学や気象・自然災害への関心が高まりました。自然科学や気象について学ぶため、広島工業大学へ進学。気象観測や観測データの解析技術、リモートセンシングの知識も修得できることから、広い視野で物事を捉える力を身に付けられると感じたのが、大きな志望動機でした。

1年次には防災士の資格を取得し、翌年からは広島工業大学学生防災士会のメンバーとして活動しました。3年次には、日本の理工系大学が連携して開催する「工大サミット」にて、「理工系大学における防災・減災・復興人材育成」をテーマに事例発表を行いました。公開シンポジウムや勉強会にも積極的に参加し、学びや交流の機会が豊富であることも、広島工業大学の大きな魅力です。

そうした環境の中で、私は地球環境学科の教授が主催する「気象予報士勉強会」に参加し、4年次に第62回気象予報士試験に合格しました。より専門性を高めてから社会に出たいと考え、大学院に進学。現在は、日本に集中豪雨をもたらす水蒸気が、どこからどのように流入しているのかをテーマに研究しています。

普段は学科棟のゼミ室でデータ解析を行っていますが、行き詰ったときは21号館の外階段から空を眺めてリフレッシュしています。

私はこの研究をやり遂げた」と胸を張つて言えるような成果を出すことが、今

の目標です。将来は、気象予報士の資格と研究結果を生かし、気象情報を分かりやすく伝

える仕事に就きたいと考えています。



2025年3月に開催された
大学公開シンポジウムに、
アシスタントとして
登壇しました。



たかはし かつまさ
高橋 克昌 さん (23歳)

[大学院工学系研究科博士前期課程]

出身中学：広島城北中学校
出身高校：広島城北高等学校
専攻：環境学専攻

在学中にチャレンジしたいこと 研究成果を論文にし、多くの研究者と議論したい
将来の目標 より専門性を深め、気象情報を提供する会社への就職をめざします



交流スペース「nexus for.」は気分転換にぴったりの空間。ソファでくつろいだり、友達と雑談をしたり、さまざまな使い方ができます。工業大学らしい内装もポイント。コンビニもあって、何かと便利です。



**うちの大学、
ここがすごい!**

- 教授との距離が近く就職支援も手厚い
- 貴重な経験を積むチャンスが多い
- 2024年大学実就職率全国13位^{※1}

※1 2025年大学通信調べ（7月28日時点）／卒業生数1,000以上3,000人未満の大学

広島工業大学の魅力

建築デザインについて学んでいます



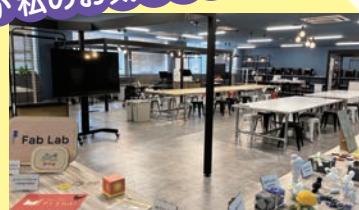
元々デザインに興味があり、漠然と

建築デザインを学びたいと考えていました。両親から「建築士の資格を取得すると将来の強みになる」と勧められたこともあり、建築や意匠設計について学べ、建築士の資格も取得できる広島工業大学への進学を決めました。

建築デザイン学科では、1年次の前期から条件に基づいて建築物の図面や立体図を作成する「設計課題」があります。自分でゼロから形にし、コンセプトやデザインの理由を発表する過程は非

常に楽しく、やりがいを感じます。さらに、1年次後期からはコンピューターショナルデザインの授業があり、BIM（3Dモデル）をベースにした建築設計ソフトやライノセラス（自由度の高いデザインを作成できる3次元モデリングツール）の使い方を学びます。入学するまで知りませんでしたが、こうした専門性の高いソフトを履修科目に含む大学は少なく、地元で学べて本当にラッキーでした。

ここが私のお気に入り！



デジタルものづくりの拠点として2025年4月にオープンした「Fab Lab」。3Dプリンターやレーザーカッター、UVプリンターなど多彩な機材を自由に使って、ものづくりにチャレンジできます。

新広島駅ビル「ミナモア」の
共有空間創造コンペに共同制作で応募し、
4階部門のグランプリを受賞しました！



おだ なづな
小田 成菜 さん（22歳）

[環境学部建築デザイン学科]

出身中学：比治山女子中学校
出身高校：比治山女子高等学校
専攻：コンピューターショナルデザイン

在学中にチャレンジしたいこと 海外（北欧や南アメリカ）の建築を見に行きたい！

将来の目標 建築業界に就職し、内装など幅広いデザインに携わりたい

うちの大学、
ここがすごい！

・専門的なデジタル教育が受けられる
・一級建築士の合格者数が、
中四国九州地方の私立大学で第1位※2

※2 2024年実績。「歴史」を受験資格とした者のみが対象のため、「二級建築士」等を受験資格とした者は含まれていません。

また、本学では広島で活躍する専門家の講話の後に、参加者全員が交流を楽しむ「Happy Hour」があり、学年を超えた交流の機会が設けられています。1年次から大学院生までが参加するため、自然に上下のつながりが生まれ、人間関係の幅が広がります。大学卒業後は大学院へ進学し、コンピューターショナルデザインによる建築設計をさらに深く研究する予定です。将来は建築系の企業に勤め、建物だけではなく内装までデザインできる建築士をめざしています。

